

平成27年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書

(平成26年度事業対象)

平成27年11月

宇土市教育委員会

—目次—

I 点検・評価制度の概要	
1 経緯	1
2 目的	
3 対象事業の選定方法	
4 学識経験者の知見の活用	
5 教育委員会としての今後の方向性	2
II 点検・評価の結果	
1 適応指導教室事業	4
2 心の教室相談員活用事業	5
3 そろばんの時間指導員派遣事業	6
4 特別支援教育事業（小学校）	7
5 特別支援教育事業（中学校）	8
6 コミュニティ・スクール事業	9
7 教育力向上支援事業	10
8 網津小学校プール改築事業	11
9 地域教育コーディネーターの育成・活用事業	12
10 放課後子ども教室推進事業	13
11 人材活用事業	14
12 史跡宇土城跡保存整備事業	15
13 網田焼の里資料館活性化事業	16
14 市内重要遺跡保存活用事業	17
15 小西行長関連事業	18
16 大太鼓活用事業	19
17 宇土市歴史資料保存活用事業	20
18 図書館蔵書充実事業	21
19 市民体育館太陽光発電設備工事事業	22
20 市民体育館バスケットゴール購入事業	23
21 給食センター施設整備事業	24
III 教育委員会の活動状況	
1 委員会議の開催状況	25
2 その他の活動状況	27

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。

地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。

その役割は、教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保、教育行政への多様な民意の反映、教育長及び事務局が執行する事務の評価・監視を行うものです。

事務の点検・評価は、上記地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 対象事業の選定方法

点検評価の対象事業は、行政の政策や施策、事務事業を有効性、効率性などの視点から一定の物差し（指標）によって客観的に評価し、事務改善や分かりやすく透明性の高い市政運営につなげていくために実施された「宇土市事務事業評価」の評価体系に準じ、教育委員会が実施した全事務事業の中から、事業費が多額にわたるもの、社会的関心が高いものなど、事業の在り方を検証する必要性が高いと判断される21事業を選定しました。

4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、担当課が行った点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む5人の外部評価委員に、対象事業についての御意見をいただきました。

外部評価委員名簿

氏名	職業等	委嘱期間
田口 剛	元教師	委嘱の日から平成29年3月31日
松本 幹夫	緑川公民館長	〃
伊勢 聡	放課後子ども教室コーディネータ	〃
中村 洋子	PTA 女性代表	〃
間 一雄	公募委員	〃

5 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員の御意見等を踏まえ、最終的に教育委員会としての今後の方向性を下記5つの中から選択しました。

拡充	事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
維持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
要改善	現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
廃止	事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業
完了	完了した事務事業

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 点検・評価の結果

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	適応指導教室事業	担当課	学校教育課
事業目的	「ほっとスペース(適応指導教室)」での受け入れ体制を確立し、多様な活動をしなが、不登校児童生徒の学校復帰及び自立に向けた支援を行う。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会及び学校との連絡会の実施 ・校外学習(社会見学、野山の散策など)と体験活動の充実 ・学校復帰を目指して、体験登山等の試みを見守る児童生徒の状況に応じて行う。 ・保護者、児童生徒との教育相談の実施 ・不登校の児童生徒及びその保護者にほっとスペースの来室を呼びかけたり体験会の開催。 		
予算額・決算額	H24予算額 4,158千円 H25予算額 3,162千円 H26予算額 3,306千円	H24決算額 2,950千円 H25決算額 2,861千円 H26決算額 2,963千円	
担当課 自己評価	適応指導教室指導員の指導のもと、生徒個々の特性に応じ、学校と連携した手立てを講じ、学校復帰へに向けた取り組みを行ったことで、学校で過ごす時間が増え、社会的自立にも繋がりとつあると考える。		

(外部評価委員の意見)

- 不登校児童・生徒、保護者への手厚い支援に感謝します。
- 広い視野に立って、保護者、児童・生徒、教師がコミュニケーションを図り、心を開かせ理解を図る。
- 個々の性格や環境に合った指導が求められ、これからの社会、増加が予測されると思いますので拡充し、きめの細かい支援が求められる。
- 私も不登校の話などは、たまに耳にします。なかなか、足を運ぶには勇気があるかもしれませんが、こういった相談が出来る場所があると、保護者にとって心強いと思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	心の教室相談員活用事業	担当課	学校教育課
事業目的	生徒が心にゆとりをもって、就学することができる教育環境を整えるため、生徒が抱える悩み、不安等を気軽に相談することで、ストレスを解消し、学校生活が楽しいという思いを持たせる。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校組織の中に、より深く入り、より多くの生徒と接触できるようにする。 ・学校を取り巻く地域サポートの方とも連携して、不登校傾向の生徒をより学校に近づける努力をする。 		
予算額・決算額	H24予算額 1,599千円 H25予算額 1,599千円 H26予算額 1,599千円	H24決算額 1,486千円 H25決算額 1,461千円 H26決算額 1,483千円	
担当課 自己評価	悩みや不安等を抱える生徒に対し、日常的な会話などを通して気軽に相談できる環境づくりに努めたことや、生徒がより充実した集団生活をおくれるよう生徒、先生、保護者との連携強化を図ったことで、生徒の悩みや不安が軽減、解消していると思われる。		

(外部評価委員の意見) ○3者が一体となった教育の充実を望みます。 ○個々の生徒は大なり、小なり悩みや不安があるかもしれません。そのような悩み等の早期の把握に努めて欲しい。 ○生徒各々がコミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図るように努める。 ○早急に結果が出るものではないので、子供達の悩みや心の不安により少しずつ自立が求められるので、長期的に取り組む必要がある。 ○昔は不登校の生徒や授業を受けたくない子は、保健室に行く事が多いと聞いた事があります。学校に話を聞いてもらえる先生は大切だと思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	そろばんの時間指導員派遣事業	担当課	学校教育課
事業目的	児童生徒の計算力, 集中力を高め, 向上心及び主体的に取り組む態度を育てるとともに, 算数・数学の学力向上を図る。		
活動内容 (事業成果)	文部科学省の教育課程特例校を認められているため, 市内小中学校にそろばん指導員を派遣し, 1学級あたり小学校3~4年生は年間20時間, 小学校5~6年生は15時間, 中学校1~2年生は, 年間10~15時間の「そろばんの時間」の授業を実施		
予算額・決算額	H24予算額 5,358千円 H25予算額 5,434千円 H26予算額 3,272千円	H24決算額 5,170千円 H25決算額 5,140千円 H26決算額 3,255千円	
担当課 自己評価	教育課程特例校指定であるそろばんの授業を引き続き実施し, 伝統や文化を重んじた教育ができた。また, 児童生徒の計算力・集中力を高め, 向上心及び主体的に取り組む態度を育てるとともに算数・数学の学力向上を図ることができた。		

(外部評価委員の意見)

- 「そろばんの時間」のアンケート調査等で結果わかりやすくなっているが提出された資料は大変分りにくいようです。子どもの調査結果からすれば指導方法・内容に一考を要するようです。(保護者)
- 東南アジアの国でも「そろばん」を授業に導入している状況をメディアが報じていたが, 集中力, 計算力には大きく役立つと思われる。
- 学科教育とは別に脳の活性化, 集中力, 考える力を修得するのにそろばんは効果があると考えますので, 継続して欲しいと思います。
- 私の子供の学校ではあまり聞きませんが, 子供にとって良い事でしたら, 継続する事と思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 ... 事業規模・内容を, より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 ... 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 ... 現在の方向性を見直し, 規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 ... 事業目的・活動内容等が, 効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特別支援教育事業(小学校)	担当課	学校教育課
事業目的	発達障害を含む障がいのある児童や特別な配慮を必要とする児童に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い自立に向けて支援するもの。		
活動内容 (事業成果)	市立7小学校において特別支援学級は14学級(自閉症・情緒障害7学級, 知的障害4学級, 肢体不自由1学級, 難聴1学級, 弱視1学級)あり, 児童数は45人, 宇土・花園小学校に通級指導教室を設置している。 また, 発達障害を含む障がいのある児童や特別な配慮を必要とする児童一人ひとりの状態に応じた, よりきめ細かい適切な教育支援を行うため, 市単独財源で非常勤職員5名を学校に配置した。 さらに, 就学指導委員会や特別支援教育連携協議会を開催することにより, 障がいに応じた適切な教育支援を実践している。		
予算額・決算額	H24予算額 13,955千円 H25予算額 11,420千円 H26予算額 10,046千円	H24決算額 13,911千円 H25決算額 11,174千円 H26決算額 9,688千円	
担当課 自己評価	発達障害を含む障がいのある児童や特別な配慮を必要とする児童は年々増加傾向にあり, よりきめ細かい適切な教育的支援を図るため, 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い, 自立することができるよう今後も継続していく必要がある。		

(外部評価委員の意見)

- 一人ひとりの状態に応じた指導・支援を今後もお願いします。
- 各障害の程度に応じた実践的できめ細かい指導で取り組み工夫する。
- 児童それぞれに合った適材適所に指導者を配置し適切な支援が必要である。長期的なきめ細やかな指導をお願いしたい。
- 発達障害の問題は, とても考えていく事と思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を, より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し, 規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が, 効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特別支援教育事業(中学校)	担当課	学校教育課
事業目的	発達障害を含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い自立に向けて支援するもの。		
活動内容 (事業成果)	<p>市立3中学校において特別支援学級は6学級(自閉症・情緒障害3学級, 知的障害1学級, 肢体不自由1学級, 難聴1学級)あり, 生徒数は18人, 鶴城中学校に通級指導教室を設置している。</p> <p>また, 発達障害を含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする生徒一人ひとりの状態に応じた, よりきめ細かい適切な教育支援を行うため, 市単独財源で非常勤職員2名を学校に配置した。</p> <p>さらに, 就学指導委員会や特別支援教育連携協議会を開催することにより, 障がいに応じた適切な教育支援を実践している。</p>		
予算額・決算額	H24予算額 5,857千円 H25予算額 4,019千円 H26予算額 6,114千円	H24決算額 5,809千円 H25決算額 3,896千円 H26決算額 5,230千円	
担当課 自己評価	発達障害を含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする生徒は年々増加傾向にあり, よりきめ細かい適切な教育的支援を図るため, 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い, 自立することができるよう今後も継続していく必要がある。		

(外部評価委員の意見)

- 一人ひとりの状態に応じた指導・支援を今後もお願いします。
- 生徒のひとりひとりを尊重し, 各障害に応じた指導・工夫を根気よく適切に判断する。
- 生徒は平等に教育を受ける権利がある。それぞれの人格に合った教育指導が望まれるので, 将来, 自立できるようにきめ細かい支援が必要である。生徒数も増加すると思われるので, 拡充の方向で継続する事業である。

教育委員会としての 今後の方向性	拡充 ・ 維持 ・ 要改善 ・ 廃止 ・ 完了
---------------------	--------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を, より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し, 規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が, 効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	コミュニティ・スクール事業	担当課	学校教育課
事業目的	保護者・地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となり、より良い教育の実現に取り組むもの。		
活動内容 (事業成果)	学校運営協議会を開催し、委員から学校運営や教育活動等に多様な意見をいただき、学校目標の共有化及び学校評価を踏まえ、改善や見直しを図っている。 また、コミュニティ活動の実践により、学校の教育活動の活性化を図っている。		
予算額・決算額	H24予算額 1,050千円 H25予算額 1,329千円 H26予算額 1,029千円	H24決算額 577千円 H25決算額 1,065千円 H26決算額 908千円	
担当課 自己評価	コミュニティを構成し実践することにより、学校・家庭・地域社会の連携強化を図り、効果的な情報収集と発信を行った。それにより、学校運営協議会を核とした学校・家庭・地域社会のネットワークの強化に繋がってきている。		

(外部評価委員の意見)

- 地域の教育力を生かしつつ、学校教育を充実させて欲しい。
- 学校、家庭、地域社会の連携強化が出来ない原因は「相互不信の感情」だと思うので、意思疎通を欠かさないようにしないと実効のある協力は望めない。
- 少子化、高齢化に伴い、地域の連携が希薄になる社会になりつつある中、子どもたちを見守り育てるには、地域と学校、家庭がお互いに連携し合い絆を深め、地域ぐるみで学校運営に当たることが求められている。その地域に合った地域力を生かし、地域の活性化することが街づくりにつながっていくと思います。
- 今、網津小でもコミュニティ・スクール活動していますが、子供達にとっても大変良い教育になっていると思います。是非、続けていってほしいです。

教育委員会としての 今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 維 持 <input type="radio"/> 要 改 善 <input type="radio"/> 廃 止 <input type="radio"/> 完 了
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	教育力向上支援事業	担当課	学校教育課
事業目的	指導員を幼稚園及び小中学校へ派遣し、授業改善に向けた指導助言を行い、教職員の指導力向上や児童生徒の学力向上を図るもの。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員による定期的な授業改善指導訪問。 ・小中学校の教職員を対象とした中堅教員養成講座の実施。 		
予算額・決算額	H24予算額 4,060千円 H25予算額 4,012千円 H26予算額 4,008千円	H24決算額 3,854千円 H25決算額 3,759千円 H26決算額 3,878千円	
担当課 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の基礎となる学習訓練等については、教職員の取組に効果が表れており、授業における学習指導の充実に繋がってきている。 ・小中学校の教職員を対象とした中堅教員養成講座は、教職員の学校における組織体の一員としての自覚が高まり、学校の核となり得る人材の育成に繋がってきている。 		

(外部評価委員の意見)

- 教職員の資質向上の為、事業の維持を望みます。
- 経験の浅い「新任のための教員養成講座」が必要と考えられる。
- 積極的に研修会や講座等を実施し、経験豊かな職員が現場職員の指導に役立ってほしい。又、学力向上と共に教職員の資質向上を図っていただきたいと思います。
- 先生方、毎日とても忙しい日々を送っているとは思いますが、先生方も指導の向上はとても大事な事と思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	網津小学校プール改築事業	担当課	学校教育課
事業目的	網津小学校の既存プールは、昭和38年に建設され、これまで改良や補修をしながら使用してきたが、軟弱地盤による地盤沈下の影響で近年ひび割れなどの老朽化による漏水が著しく、満水にしてもすぐに水位が下がり、水泳の授業に支障をきたしている状況である。よって、老朽化している既存プールを解体し、同じ場所に新たにプールを改築することで教育環境の改善と学校教育活動の円滑な実施を図る。		
活動内容 (事業成果)	平成25年度に網津小学校プール改築工事に伴う実施設計業務委託を実施した。また、平成26年度に既存プール解体工事、網津小学校プール改築本体工事、同電気設備工事、同機械設備工事を実施した。(FRP製の大・小プール本体(水面積400平方メートル)及びプール附属棟(鉄筋コンクリート造延べ面積93.22平方メートル)の工事が完成した。)		
予算額・決算額	H25予算額 10,730千円 H26予算額 178,206千円	H25決算額 9,240千円 H26決算額 162,632千円	
担当課 自己評価	学校施設は、児童等にとって学習と生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所の役割を果たすように整備する必要があるため、夏場は学校水泳用として利用し、プール水については、火災発生時の防火用水としての役割を果たすことで、地域住民の安全・安心を確保する機能を持った施設として整備することができた。		

(外部評価委員の意見)
 ○工事完了で感謝している。
 ○小学校プール改築事業として維持。
 ○学校のプールは公共性が強いのでプール本体、設備の継続管理に努めて欲しい。水質について循環式のため、定期的に水質検査を実施し従来管理に努めてほしいと思います。
 ○網津小のプール、とてもきれいになり、今年は子供達も大変喜んで泳いでいました。網津小の保護者として感謝の気持ちです。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域教育コーディネーターの育成・活用事業	担当課	生涯学習課
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てる体制の構築 ・地域の活性化や学校を核とした地域づくり ・地域住民(学校支援ボランティア)の知識や経験を生かす場の提供 ・教員の子供と向き合う時間の確保 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの募集(随時) ・実行委員会(年2回)、地域協議会(住吉中校区、鶴城中校区各2回)の開催 ・具体的な学校支援 <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせの支援(住吉中校区63回、鶴城中校区87回) 校内環境整備及び学校行事の支援(住吉中校区1回、鶴城中校区6回) 登下校安全見守り支援(住吉中校区600回、鶴城中校区560回) 学習支援(住吉中校区7回、鶴城中校区23回) ・ボランティア養成講座の実施2回 ・ボランティアの集い(説明会) ・事業成果報告会及び研修会の開催 		
予算額・決算額	H24予算額 2,026千円 H25予算額 1,998千円 H26予算額 2,033千円	H24決算額 1,887千円 H25決算額 1,875千円 H26決算額 1,779千円	
担当課 自己評価	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校と学校支援ボランティア(地域住民)との連携を図りながら地域ぐるみで子どもを育てる体制作り寄与している。 ②学校支援ボランティア(地域住民)の知識、経験を生かす場の確保により、地域の活性化に繋げる契機となってきている。 ③学校支援を通して、担任の先生(学校側)の教育効果を上げるのにも役立っている。 ④学校支援ボランティアの事業に取り組む姿勢が、子どもたちの心に届き、ボランティアの心を育むのに役立っている。 ⑤本事業について、学校及び地域の理解が少しずつ図られ、学校側からの具体的な支援の要請もでてくるようになってきた。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①本事業のさらなる啓発と情報発信 ②学校支援ボランティアの確保 ③各種団体との連携。 		

(外部評価委員の意見)

○地域・学校が一体となった子育ては大変有意義であると考えます。

○ボランティア活動に必要な協力、責任などの態度を十分に身に付ける必要がある。

○地域の力を生かすために学校、地域の方々との交流をはかって欲しい。家庭、保護者とのボランティアのつながりが少ないように思われるので、コーディネーターは積極的に絆を深めて欲しい。

○ボランティアの人員確保、大変だと思いますが、是非、続けていってほしいです。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
-----------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課	生涯学習課
事業目的	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	○水曜日:学習アドバイザーによる学びタイム(国語・算数のドリル学習など) ○金曜日:地域の方々とのふるさとタイム(スポーツや伝承あそび等の交流活動) ○年2回の運営委員会の開催 ○学期ごとのスタッフ会議の開催 ○教育委員会ALTとの交流(ハロウィンパーティー)、県派遣のボランティア活用 ○参加児童・保護者へのアンケート実施 ○活動スタッフの募集 ○各学期1回生涯学習課企画のふるさとタイムの実施		
予算額・決算額	H24予算額 667千円 H25予算額 698千円 H26予算額 659千円	H24決算額 563千円 H25決算額 595千円 H26決算額 524千円	
担当課 自己評価	【成果】 PTA(保護者)や婦人会等の地域団体が活動指導者となり、活動内容を企画・運営していて、地域の主体性が活動に生かされた。最終回で実施したアンケートでは、児童からの回答で14名中7名が「とても楽しかった」、7名が「楽しかった」とあり、参加した児童に楽しんでもらえたと感じている。 【課題】 地域の主体性を活動に生かしていくためのコーディネーターの育成と学習アドバイザー・安全管理員等のスタッフの確保。他校から実施したいと思われるような魅力ある放課後子ども教室づくりのためのプログラムの創意工夫。		

(外部評価委員の意見)

- 事業の実施は大変ありがたいと思います。スタッフの確保が難しいでしょうね。
- 「放課後子ども総合プラン」に基づき子ども教室の準備が進められます。「拡充」が必要です。
- 不用額が生じないよう予算執行して頂きたい。毎年10万円の不用額が生じるのは、活動ボランティアの予算積算人数と実働人数の差と考える。この実働人数が増えるとは思えない。今迄同様、活動ボランティアに対する謝金の支給を続けて頂きたい。保険もかけて頂いた上で。
- 児童、生徒の非行防止などの上からも有意義な活動と思われる。
- 子供があくまで主体となって計画し、自立や交流をはかるべきで地域の方々は見守りに徹して育てるべきではないかと思ます。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
-----------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	人材活用事業	担当課	生涯学習課
事業目的	様々な知識や技術を持つ地域の方々を募り、学校や団体、地域に派遣し、伝統・文化の継承や世代間の交流等を行うことによって、地域の教育力の向上と生涯学習活動の推進を図る。		
活動内容	<p>・事前研修会を開催し事業への理解を深めたと同時に指導者間の交流も行った。</p> <p>・生徒から指導者へ感謝の気持ちを表したお礼の文集などが手渡され、生徒児童の豊かな情操を育んでいる。</p> <p>・冊子の作成（年度での各派遣内容の成果・課題等をまとめた事業実績）</p> <p>・広報でのPR（指導者の登録募集や事前研修会の内容等）</p> <p>※指導者登録者数 180人 申請件数 29件 実施日 37日（生け花・絵手紙・昔遊び・太鼓演奏・着付け等の伝統文化の継承）</p> <p>派遣指導者延べ人数 139人 利用者数延べ人数 2,043人</p>		
予算額・決算額	H24予算額 299千円 H25予算額 207千円 H26予算額 208千円	H24決算額 130千円 H25決算額 125千円 H26決算額 120千円	
担当課自己評価	<p>【成果】 この事業を利用された方たちからは、生徒からの感謝の気持ちを表したお礼の文集などが手渡され、生きる喜び・感動を得て何ものにも代えがたいとの声をいただくなど、少しずつではあるが、地域教育力の向上と生涯学習の推進を図るための重要な事業となっている。</p> <p>【課題】 既存の登録者でまだ活動を1回もされていない方たちをいかにアピールし、活躍の場を提供できるかが課題のひとつである。また、指導者の高齢化が進んでおり、伝統芸能等の新たな指導者の獲得、地域への利用の拡大も大きな課題のひとつである。</p>		

(外部評価委員の意見)

- 多様化したところの人材確保の必要がある。
- 指導者登録数に対して申請件数が少ないのは、もっと積極的に施設や地域の要望を求めると同時に啓発、アピールが必要と思います。定期的に要望事項を効果的に実施(人材活用)すべきではないかと思います。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
-----------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	史跡宇土城跡保存整備事業	担当課	文化課
事業目的	中世城跡としては県内で最初に国指定史跡となった貴重な文化財であり、恒久的に保存するため適切な維持管理を行うとともに、発掘調査の成果に基づいた整備を実施し、多くの市民の憩いの場や野外博物館的な施設等として生涯学習の拠点とする。加えて、体験発掘やキャッスルウォーキングといった市民参加型のイベントを通じ宇土の重要な地域資源としての認知度を更に向上させ、まちづくりの拠点としても活用する。		
活動内容 (事業成果)	<p>「平成26年度活動内容」</p> <p>○第5ブロック(空堀地区)の発掘調査と保存整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査:横堀跡(通称カラホリ)遺構確認調査(実施面積207㎡) ・整備:横堀跡(通称カラホリ)の保存整備に向けた、樹木伐採を行った。(実施面積1323㎡) <p>○第3ブロックの発掘調査報告書(平成21～24年度分)を刊行した。</p> <p>○史跡宇土城跡全体にかかる保存管理計画書策定に向けた検討委員会を行った(8月・3月)。</p>		
予算額・決算額	H24予算額 10,055千円 H25予算額 11,608千円 H26予算額 13,103千円	H24決算額 10,009千円 H25決算額 11,432千円 H26決算額 13,015千円	
担当課 自己評価	<p>「維持」</p> <p>平成25年度から着手した第5ブロック(カラホリ地区)の発掘調査を継続して実施し、史跡宇土城跡全体の解明に向けた作業を行っている。さらに、今後の史跡全体の整備・保存に向けた「保存管理計画」を平成26・27年度の2か年で検討し、策定する。</p> <p>平成28年度以降は、第5ブロック(カラホリ地区)の発掘調査整備を継続して行うとともに、第3ブロック(三城及びその周辺地区)・第4ブロック(貝塚地区)等の保存整備工事も実施していく。</p>		

(外部評価委員の意見)

- 是非とも「保存整備」が立派に出来るように期待します。
- 宇土市の「歴史遺産」として諸資料を吟味考察し地理的、歴史的事象の研究を深める。
- 発掘調査の状況等を市民に広報し、調査の工程ごとに見学会等を実施し、多くの人々に感心度を高め、地域の貴重な史跡の良さを認識していただくべきではないかと思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	網田焼の里資料館活性化事業	担当課	文化課
事業目的	江戸時代後期に栄えた網田焼は、肥後藩の窯元として全国的に知られた焼き物である。この網田焼を復元するため、現在は地元の陶芸家らの協力を得て藩窯時代の作品の復元に取り組んでいる。近時では藩窯時代の逸品と見劣りしない優れた作品が完成してきており、今後この復元作品を活用した、網田焼の里資料館の活性化が望まれる。また、明治時代から網田地域で栽培されている「網田ネーブル」の価値を再認識してもらうため、ネーブルに関する展示を併せて発展させる。		
活動内容 (事業成果)	○JRウォーキング開催に伴う開館業務(4月13日) ○網田焼の里資料館運営委員会の開催(7月3日) ○網田焼の里秋まつり(10月26日)、網田ネーブルの里春まつり(3月8日) ○宇城の窯元めぐり作品の展示・期間中毎日開館(10月18日～10月26日) ○網田焼の里資料館中園邸外壁修繕(5月～7月) ○文化庁補助事業「伝統文化親子教室事業」を網田焼の里資料館にて実施(うと村木会)		
予算額・決算額	H24予算額 5,318千円 H25予算額 3,211千円 H26予算額 2,069千円	H24決算額 4,657千円 H25決算額 2,424千円 H26決算額 1,799千円	
担当課 自己評価	「維持」 中園邸の外壁について、毎年適切な維持管理のため修繕を行っている。 平成26年度から、地域の名産物である「網田ネーブル」を軸として来館者を呼び込むイベントを開催。今後は、平成26年度に国登録有形文化財となった網田駅舎(網田レトロ館)と連携したプログラム(オルレ・フットパス等を生かした)を模索したい。また、資料館の展示内容も拡充が必須である。		

(外部評価委員の意見)

- 今後、広報・啓発にも力を入れて欲しい。
- 地域活性化の為に、網田焼の歴史、その作品の陳列などがあつたらと思う。
- 街づくりや地域の活性化に大いに役立つと考えますので、多くの人々がイベントばかりでなく、日頃、人々が集まる資料館であってほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 維 持 <input type="radio"/> 要 改 善 <input type="radio"/> 廃 止 <input type="radio"/> 完 了
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	市内重要遺跡保存活用事業	担当課	文化課
事業目的	宇土市には、国指定2件・国登録1件・県指定9件・市指定106件の計118件の指定文化財がある。これらの指定文化財や現時点で指定されていない遺跡の中には、将来的に国・県指定になる可能性がある重要遺跡が存在する。これら重要遺跡を後世に継承していくため適切に管理・保存するとともに、市民の方へ調査成果を公開する等、遺跡や文化財の積極的な活用が求められている。市内遺跡の分布調査や発掘調査、出土遺物整理などを実施することにより、国・県指定に向けた様々な要件を整理するとともに、保存計画等を策定して遺跡の活用や恒久的な保存を図る。		
活動内容 (事業成果)	<p>○周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為の把握に努めた。また、開発行為に対応するための試掘確認調査や出土品の整理作業を行った。</p> <p>○重要遺跡である轟貝塚について、国史跡指定に向け、既発掘箇所の新発掘を中心とした発掘調査を約半世紀ぶりに実施した。また、半世紀前の調査成果品について、調査団体から宇土市へ寄贈いただくことができた。</p> <p>○各重要遺跡の保存・活用について、今後行うべき事業について話し合う宇土市重要遺跡保存活用検討委員会を開催した(12月、3月)。</p>		
予算額・決算額	H24予算額 2,422千円 H25予算額 2,053千円 H26予算額 5,575千円	H24決算額 2,314千円 H25決算額 2,025千円 H26決算額 5,165千円	
担当課 自己評価	<p>「拡充」</p> <p>○国指定の可能性が充分にある轟貝塚・曾畑貝塚について、文化庁や有識者の助言・指導のもと発掘調査を継続して実施する。具体的には、当初調査時に果たせていなかった領域(科学的分析など)を含めた発掘調査を行う。両貝塚については学界からも高い評価を得ており、宇土市教育委員会からの指定申請が強く望まれており、早急な準備を進めたい、と考える。両貝塚が国指定を受けることで歴史を活かしたまちづくりに強みに弾みがつくもの、と考えており、この作業に関しては文化課のみならず宇土市全体としての取り組みを切望する。</p> <p>○現役最古の上水道「轟泉水道」に対する本格的な調査にも着手する。</p>		

(外部評価委員の意見)

- 市内の重要な遺跡を発掘、保存することは大変いい事だと思います。是非、実施して欲しい。
- 考古学的な遺跡の位置付けが必要と考える。
- 長期的に計画、保存、活用を考慮し実施してほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡充 ・ 維持 ・ 要改善 ・ 廃止 ・ 完了
---------------------	--------------------------------

※評価判定

- 拡充 ... 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維持 ... 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 ... 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃止 ... 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	小西行長関連事業	担当課	文化課
事業目的	小西行長の人物像や国内外での活躍・功績を再評価することによって新たな地域資源を生み出し、宇土市の歴史遺産や伝統文化と併せて地域の活性化並びに観光の振興を図る。具体的には小西行長に関連した研究を発表していただく講演会を継続して開催、小西行長への理解を一般の方へ深めてもらう。また、史料調査を行い、最新の成果を「うと学研究」に掲載。小西行長の研究拠点として、広く県内外の方々と共有を深める。		
活動内容 (事業成果)	<p>○「よみがえる小西行長公」講演会 第7弾(6月7日、参加者132名)を開催。</p> <p>○「よみがえる小西行長公」講演会 第8弾(9月13日、参加者140名)を開催。</p> <p>○小西行長関連資料調査(東京)を専門家に依頼。小西行長の家臣団についての史料掘り起こしを行った。</p> <p>○劇団わらび座との共同企画で、小西行長の養女「ジュリアおたあ」を題材にしたミュージカルを全国に発信した(9月から全国公演)。10月1・2日には宇土市民会館にて公演が行われ、市内の小学校6年生・中学校3年生を特別招待し鑑賞の機会を設けた。また、この全国公演に際し、公演会場にて小西行長関連書籍・菓子を販売。宇土市に対するPR効果が高まった。</p>		
予算額・決算額	H24予算額 547千円 H25予算額 691千円 H26予算額 559千円	H24決算額 413千円 H25決算額 531千円 H26決算額 449千円	
担当課 自己評価	「維持」 「よみがえる小西行長公」講演会を継続して定期的に開催し、小西行長に関する市民の方々の認識を広めることができている。また、平成26年度は小西行長の養女「ジュリアおたあ」を、劇団わらび座との共同企画のミュージカルとして全国に向けて発信を開始した(9月から)。小西行長の拠点として、宇土市の意義を全国に向けてPRしてきており、引き続き劇団わらび座のミュージカルを平成27年度にかけて発信する。その他、今後とも小西行長とゆかりのある地域と連携協力し、情報発信や交流活動の推進、歴史文化認識の掘り起こしに取り組む必要がある。		

(外部評価委員の意見)

- 今後も大いに広報に努め、宇土市の地名度の向上に役立ってほしい。
- 歴史的人物像の人間としての生き方、そのときの社会の変化などに対応した説明が望ましい。
- 宇土市の貴重な歴史と文化の源であるので継続的に事業に取り組んでほしいと思います。
- 今、子供達が住んでいる宇土市、そして、人物の歴史を知る事は、とても大切だと思います。そして、今の子供達が、また、次の世代に伝えていってほしいと思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	大太鼓活用事業	担当課	文化課
事業目的	市民の主体的な文化・芸術活動を促進するため、「宇土大太鼓フェスティバル」への支援を行う。また、太鼓文化の保存継承のため太鼓教室を開催し、市民会館等での発表の場を設ける。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> ○宇土大太鼓フェスティバルへの支援を行った。 ○太鼓教室を開催した。(17回・35人参加) ○地蔵祭に太鼓教室受講者が参加した。(30人・2回練習) 		
予算額・決算額	H24予算額 3,642千円 H25予算額 2,110千円 H26予算額 1,186千円	H24決算額 3,392千円 H25決算額 1,939千円 H26決算額 1,121千円	
担当課 自己評価	「維持」 ○太鼓教室は毎年受講希望者が多く、抽選を行って決定した。課題曲は毎年異なるが、ほとんどの受講生が最後まで練習に励んでいる。 ○「宇土大太鼓フェスティバル」では、宇土高校だけでなく市外の実力校の参加があり、太鼓を通じた地域交流を行うことができている。また、大太鼓の聖地として、プロ太鼓集団が定期的に出演するまでになっている。 ○今後も伝統文化に触れる機会を提供し、地域の活力へと繋げていくためにも、当該事業を継続して実施する。		

(外部評価委員の意見)
 ○大太鼓は貴重な文化財産であり、大切に收藏されており各地区の太鼓を活用し、各地元の祭り等活発に披露し子供に伝承していくことが大事ではないかと思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	宇土市歴史資料保存活用事業	担当課	文化課
事業目的	宇土市史編纂事業等で収集した歴史的・文化的価値を有する資料を、市民が気軽に活用できるための環境整備を行うとともに、市民の方々が歴史・文化により一層興味を持ってもらうよう、これらの資料の持つ価値をPRし、地域活動等につなげていくため事業を実施する。		
活動内容 (事業成果)	<ul style="list-style-type: none"> ○宇土市歴史資料保存活用事業運営委員会を開催した。(5月・10月) ○古文書史料の調査(6月～3月) ○歴史資料を収集するとともに、山田文庫の美術品調査を実施した。(5月～3月) ○歴史刊行物として、「うと学研究第36号」を刊行した。 ○「うと学資料室」を開設、「宇土細川家文書」「宇土藩文書」を中心に一般市民への公開を開始した。(5月) ○小学生～高校生向け「夏休み歴史教室」を開催。(8月) ○デジタルミュージアムの内容更新を行った。 ○教育委員会耐火倉庫の燻蒸を行った。(8月) ○熊本県近代文学館との共催で出前講座を開催。(12月) 		
予算額・決算額	H24予算額 6,624千円 H25予算額 14,203千円 H26予算額 4,082千円	H24決算額 6,051千円 H25決算額 13,087千円 H26決算額 3,474千円	
担当課 自己評価	「維持」 ○宇土市史編纂事業にて収集した歴史的・文化的価値を有する資料を市民が気軽に活用できるよう「うと学資料室」を平成26年度に開設。今後も教育委員会所蔵資料を中心に漸次公開対象資料を増やしていく。 ○古文書資料のマイクロフィルム電子化について、緊急雇用創出基金事業などの補助事業で合致するものがあれば、その都度要望していく。 ○山田文庫美術品の調査成果を市民の方へ広めていく。 ○膨大な歴史資料の保管場所の確保が喫緊の課題である。今後も空き家などの情報収集に努め、速やかに確保したい。 ○「よみがえる小西行長公」講演会の模様を単行本として発行し、市民の方への認識を広めていく。		

(外部評価委員の意見)
 ○「うと学資料室」はまだ市民にあまり知られていない。
 ○宇土市の歴史的過程と生活、文化の地域的特色が理解出来るようにしてもらいたい。
 ○多くの市民が興味を持って、宇土の歴史と文化を観覧できるように啓発して欲しいと思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	図書館蔵書充実事業	担当課	図書館
事業目的	市民の知識・学習の拠点として、図書館蔵書の充実を図ることにより、市民サービスの向上を目指す。併せて、元気な宇土市づくりに貢献する。		
活動内容 (事業成果)	年間を通じて、図書の購入を行い、蔵書の充実を図る。 平成26年度の、図書購入費は441万円。26年度中の購入冊数は2,306冊。 現在(平成27年3月末現在)当館の蔵書冊数は92,164冊であり(平成25年度末は89,294冊)、人口100人当たりの蔵書冊数は230冊(県下14市中12番目)である。		
予算額・決算額	H24予算額 4,820千円 H25予算額 4,002千円 H26予算額 4,411千円	H24決算額 4,820千円 H25決算額 4,002千円 H26決算額 4,411千円	
担当課 自己評価	<p>予算の範囲内での活動は出来ているが、更に予算の拡充を行い、図書館サービスの充実を図る必要がある。</p> <p>当館の課題として、駐車場のスペースが狭いので利用者減の妨げの一因となっている。また、施設の老朽化により、現代的な書架の配置が難しく、市民のニーズに十分に応じることができない。</p> <p>現状では、書庫及び書架の整理を行い、配置を検討し、蔵書の充実を図ることが必要である。</p>		

(外部評価委員の意見)

- 蔵書冊数の充実に期待します。又、利用者の増加を図ることを望みます。(駐車場との関係かもわかりません)
- 市役所新庁舎建設時期に合わせて、拡充をして頂きたいという意味での「拡充」です。
- 必要な種類の本を「広報うと」又は「熊日」などで寄贈を呼び掛けたらどうだろうか。又、新品の「バーゲンブック」の利用をしたらと思う。
- 若い人の活字離れが続いている中で市民の多くの方々に利用していただくために、気楽に立ち寄れる雰囲気作りに努めてほしいと思います。例えばオープンカフェ等はどうでしょうか。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	市民体育館太陽光発電設備工事事業	担当課	スポーツ振興課
事業目的	宇土市民体育館は、地域防災計画所において避難場所として指定されている。災害発生時には、避難場所として中心となる施設。今回の整備を行うことにより、日頃からのCO2排出抑制等環境に配慮した施設運営を行うことができ、災害発生時には、避難所としてよりよい環境を作ることを目的としている。		
活動内容 (事業成果)	平成27年3月設置完了 太陽光発電パネル(定格出力250W)40枚 合計出力10KW リチウムイオン蓄電池(15.4W)1基 合計容量 15.4KW		
予算額・決算額	H24予算額 千円 H25予算額 千円 H26予算額 22,842千円	H24決算額 千円 H25決算額 千円 H26決算額 20,442千円	
担当課 自己評価	市民体育館は平成25年度に消費電力の極めて少ない輻射式空調設備を導入しさらにメイン照明LED照明を使用したエコに配慮した施設で、さらに太陽光発電システムおよび蓄電池を設置することにより日頃からCO2排出抑制等に配慮した施設運営が行われることになる。		

(外部評価委員の意見)
 ○とても立派な工事が実施され感謝しています。
 ○市民体育館の何らかの整備事業として維持するという意味。
 ○大規模な改修工事が行われ、設備面も充実した施設になったと思います。今後、予算措置と構造的に可能であれば発電パネル等を増設してCO2対策に配慮して欲しいと思います。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	市民体育館バスケットゴール購入事業	担当課	スポーツ振興課
事業目的	市民体育館では、年間を通じて市内外の中学・高校・大学・成人のバスケットボールの練習や大会が行われているが既存のバスケットゴールの老朽化による支障がある。また、既存のゴールは、一般のみの競技対応だったが今回のゴールはミニバスケットボールにも対応ができジュニアの大会や教室の開催ができる。		
活動内容 (事業成果)	平成26年度、toto日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成交付金(6,000,000円)を受け市民体育館バスケットゴールを購入。		
予算額・決算額	H24予算額 千円 H25予算額 千円 H26予算額 9,539千円	H24決算額 千円 H25決算額 千円 H26決算額 8,294千円	
担当課 自己評価	今回の購入によりこれまでの老朽化による支障が解消された。27年度にNBL公式戦を予定しているが、今回は他市からの借用の必要がなくなる。また、公式戦・一般だけの対応でなくジュニアを対象としたミニバスケットボールの大会・教室等が開催できる。		

(外部評価委員の意見)

- 今後、大きな大会等が本体育館で実施可能ということで、期待しています。
- 市民体育館の何らかの整備事業として維持するという意味。
- 施設の改修により機能の充実が図られたことにより、利用度、活用が推進されたと思います。幅広い大会が充実されて、スポーツ、市民の体力づくりの拠点になってほしいと思う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実に継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

平成26年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	給食センター施設整備事業	担当課	給食センター
事業目的	施設整備の点検を行い実態を把握し、年次計画的に機器等を準備し、衛生管理の徹底及び、昼食業務の充実を図るため、施設整備を行う。		
活動内容 (事業成果)	過熱蒸気調理機1台購入(取替) 給食配送用コンテナ購入 調理場用ザルカート購入 調理場用スタッキングカート購入 調理場用2段式移動水切台購入		
予算額・決算額	H24予算額 12,586千円 H25予算額 18,617千円 H26予算額 20,437千円	H24決算額 11,130千円 H25決算額 16,454千円 H26決算額 20,314千円	
担当課 自己評価	過熱蒸気調理機の購入を実施した。予定どおり更新できたので、今後も引き続き整備計画に従い順次進めていく。		

(外部評価委員の意見)

○今後とも、適切な施設、用具等の整備に努めて下さい。(安全な給食が出来ますように)

○児童、生徒の食の安全上からも耐用年数到来での物品の更新は必要である。

○毎日の調理作業や配食で大変な施設と思いますが、調理器具や設備等は毎日、始業、終業点検を実施し事故防止と、安全教育に努めて欲しいと思います。特に、従来管理に注意し、器具は経年による破損がないよう更新の時期の確認に努めて準備して欲しいと思います。

○いつも、子供達が食べる給食、とてもありがたく思っています。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了
---------------------	--------------------------------------

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

Ⅲ 教育委員会の活動状況

1 委員会議の開催状況

宇土市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、教育委員会（教育長並びに4名の委員）が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けています。

平成26年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりです。

期日	場所	付議事件
平成26年4月15日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市教育委員会事務局組織の一部を改正する規則について 平成26年度心身障害児就学指導委員会就学答申について 平成26年度宇土市学校教育指導員の委嘱について 平成26年度宇土市特別支援教育指導員の委嘱について 平成26年度宇土市立小中学校教務主任等の任命について 平成26年度学校評議員の委嘱について 平成26年度幼稚園評議員の委嘱について 平成26年度宇土市学校教育努力目標について 平成26年度宇土市立幼稚園努力目標について 平成26年度宇土市生涯学習努力目標について 平成26年度宇土市人権教育努力目標について 平成26年度宇土市文化振興努力目標について 平成26年度宇土市図書券努力目標について 平成26年度宇土市社会体育努力目標について 平成26年度宇土市学校給食センター努力目標について スポーツ功労者の表彰について
平成26年4月28日 (臨時会)	教育委員会 2階会議室	教育委員の辞職の同意について
平成26年5月14日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（住吉中） 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（網田小・網田中） 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（花園小） 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（走湯小） 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（緑川小） 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（網津小）

		<p>宇土市中心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について</p> <p>平成26年度心身障害児就学指導委員会にかかる就学答申について</p> <p>平成26年度「宇土市小中連携推進に関する実践研究校」の指定について</p> <p>宇土市社会教育委員の委嘱について</p> <p>宇土市公民館運営審議会委員の委嘱について</p> <p>宇土市重要遺跡保存活用検討委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市網田焼の里資料館運営委員会の委嘱について</p> <p>史跡宇土城跡保存整備検討委員会設置条例について</p> <p>宇土市立図書館協議会委員の任命について</p> <p>宇土市スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>平成26年度宇土市一般会計補正予算について</p> <p>平成26年度宇土市奨学生新規採用者の選考について</p>
平成26年6月9日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>宇土市立幼稚園の保育料減免に関する規則の一部を改正する規則について</p> <p>宇土市立学校体育施設の使用に関する条例の施行期日を定める規則について</p> <p>宇土市スポーツ推進審議会委員の任命について</p> <p>宇土市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p>
平成26年6月25日 (臨時会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>宇土市教育委員会教育長の選任について</p>
平成26年7月9日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>宇土市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について</p> <p>宇土市立小・中学校管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>史跡宇土城跡保存整備検討委員会委員の委嘱について</p>
平成26年7月24日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	宇土市幼稚園条例の一部を改正する条例について
平成26年8月5日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>平成26年度宇土市一般会計補正予算について</p> <p>平成27年度に使用する小学校教科用図書の採択について</p>
平成26年9月9日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 平成26年度心身障害児就学指導委員会にかかる就学答申について
平成26年10月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>宇土市教育委員会委員長選挙について</p> <p>平成26年度心身障害児就学指導委員会にかかる就学答申について</p>
平成26年11月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>宇土市幼稚園条例の一部を改正する条例について</p> <p>宇土市立幼稚園一時預かり保育条例について</p> <p>宇土市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価</p>

		について 平成26年度宇土市一般会計補正予算について
平成27年2月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について 学校教育法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 宇土市立小・中学校管理運営規則の一部を改正する規則について 児童・生徒の表彰について 平成26年度宇土市一般会計補正予算について 平成26年度宇土市奨学基金特別会計補正予算について
平成27年3月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立小中学校小規模特認校制度に関する規則について 宇土市立幼稚園規則の一部を改正する規則について 宇土市立幼稚園一時預かり保育条例施行規則の制定について 平成27年度学校内科医、眼科医、耳鼻科医、歯科医及び薬剤師の委嘱について 平成27年度学校産業医の委嘱について 平成

2 その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、適宜、各種会議、関係行事へ出席するなどしています。

平成26年度における、その主な活動は次のとおりです。

- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・教育委員行政視察研修
- ・熊本県市町村教育委員大会
- ・学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各幼稚園運動会・各小学校運動会・各中学校体育祭
- ・成人式典
- ・学校給食試食会
- ・その他各種イベント事業への出席

【宇土市教育委員会 教育長・教育委員名簿】

(平成27年11月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	<small>おおた けんざい</small> 太田 耕幸	平成 27.10.1 ~ 平成 30.9.30
教育長職務代理者	<small>いよ ともひさ</small> 伊豫 富久	平成 27.10.1 ~ 平成 30.9.30
委 員	<small>いわむら としあき</small> 岩村 俊明	平成 24.12.24 ~ 平成 28.12.23
委 員	<small>きむら みねこ</small> 木村 峰子	平成 25.10.15 ~ 平成 29.10.14
委 員	<small>ながお けん</small> 長尾 健	平成 24.12.24 ~ 平成 28.12.23